

隣接校種教諭免許状 免許法別表第8 中学校教諭二種免許状の取得

【基礎資格・必要在職年数】

- ☐ 小学校教諭の普通免許状を有すること
- ☐ 基礎資格修得後、小、中、義務教育学校の前期又は後期課程、中等教育学校の前期課程、特別支援学校小学部又は中学部において最低在職年数 3年以上
- ☐ 高等学校教諭の普通免許状を有すること（取得しようとする免許の相当教科であること。）
- ☐ 基礎資格取得後、中、高、義務教育学校の後期課程、中等教育学校の前期又は後期課程、特別支援学校中学部又は高等部において最低在職年数 3年以上

【必要単位】

基礎資格取得後に修得した単位により最低修得単位数を満たしていること						
有する免許 状種類	修得方法	必要単位	施行規則第18条の2の表第4号の適用を受ける場合、基礎となる在職年数が3年以上あることに加えて、以下の学校で1年以上の在職年数があること（H28.4.1以降に計4年以上の経験があること）。 ・イ 学校教育法施行規則第79条の9第1項の規定により小学校の教育と一貫した教育を施す小学校 ・ロ 中学校 ・ハ 義務教育学校 ・ニ 学校教育法（昭和22年法律第26号）第71条の規定により中学校における教育と一貫した教育を施す高等学校 ・ホ 中等教育学校 ・ヘ 特別支援学校の中学部			修得単位
			1年	2年	3年以上	
小学校教諭 免許状	教科に関する専門的事項に関する科目	施行規則第4条第1項表備考第1号に定める修得方法の例にならう	10	7	5	5
	各教科の指導法	受けようとする免許状教科について修得する	2	2	1	1
	道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	生徒指導の理論及び方法 教育相談（カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。）の理論及び方法	2	2	2	1
	※生徒指導、進路指導、教育相談の内容は全て含まなければならない	進路指導及びキャリア教育の理論及び方法				
	合計		14	11	8	7
高等学校教 諭免許状	各教科の指導法	受けようとする免許状教科について修得する	2	1	1	2年の場合と同様
	道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	道徳の理論及び指導法 生徒指導の理論及び方法 教育相談（カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。）の理論及び方法	1	1	1	
	※生徒指導、進路指導、教育相談の内容は全て含まなければならない。	進路指導及びキャリア教育の理論及び方法	2	1	1	
	大学が独自に設定する科目	※施行規則第18条の2表備考第3号	4	3	2	
	合計		9	6	5	

※施行規則第18条の2表備考第3号
大学が独自に設定する科目の修得方法について、高等学校教諭免許状を有する者が中学校教諭二種免許状を受ける場合、国語の教科を受ける場合にあつては書道（書写を中心とする。）について1単位以上を、地理歴史の免許状を有する者が社会の教科についての免許状の授与を受ける場合にあつては「法律学、政治学」、「社会学、経済学」及び「哲学、倫理学、宗教学」についてそれぞれ1単位以上を、公民の免許状を有する者が社会の教科についての免許状の授与を受ける場合にあつては日本史・外国史及び地理学（地誌を含む。）についてそれぞれ1単位以上を、理科の教科についての免許状を受ける場合にあっては物理学実験・化学実験・生物学実験地学実験について1単位以上を、美術の教科についての免許状の授与を受ける場合にあつては工芸について1単位以上を、技術の教科についての免許状の授与を受ける場合にあっては材料加工（実習を含む。）及び生物育成についてそれぞれ1単位以上を修得するものとする。

※施行規則 第4条表備考第1 号・・・そ れぞれ定め る教科に関 する専門的 科目につい て1単位以 上修得	イ 【国語】 国語学（音声言語及び文章表現に関するものを含む。）、国文学（国文学史を含む。）、漢文学、書道（書写を中心とする。） ロ 【社会】 日本史・外国史、地理学（地誌を含む。）、「法律学、政治学」、「社会学、経済学」、「哲学、倫理学、宗教学」 ハ 【数学】 代数学、幾何学、解析学、「確率論、統計学」、コンピュータ ニ 【理科】 物理学、化学、生物学、地学、物理学実験・化学実験・生物学実験・地学実験 ホ 【音楽】 ソルフエージュ、声楽（合唱及び日本の伝統的な歌唱を含む。）、器楽（合奏及び伴奏並びに和楽器を含む。）、指揮法、音楽理論・作曲法（編曲法を含む。）、音楽史（日本の伝統音楽及び諸民族の音楽を含む。） ヘ 【美術】 絵画（映像メディア表現を含む。）、彫刻、デザイン（映像メディア表現を含む。）、工芸、美術理論・美術史（鑑賞並びに日本の伝統美術及びアジアの美術を含む。） ト 【保健体育】 体育実技、「体育原理、体育心理学、体育経営管理学、体育社会学、体育史」・運動学（運動方法学を含む。）、生理学（運動生理学を含む。）、衛生学・公衆衛生学、学校保健（小児保健、精神保健、学校安全及び救急処置を含む。） チ 【保健】 生理学・栄養学、衛生学・公衆衛生学、学校保健（小児保健、精神保健、学校安全及び救急処置を含む。） リ 【技術】 材料加工（実習を含む。）、機械・電気（実習を含む。）、生物育成、情報とコンピュータ ヌ 【家庭】 家庭経営学（家族関係学及び家庭経済学を含む。）、被服学（被服実習を含む。）、食物学（栄養学、食品学及び調理実習を含む。）、住居学、保育学 ル 【職業】 産業概説、職業指導、「農業、工業、商業、水産」、「農業実習、工業実習、商業実習、水産実習、商戦実習」 ラ 【職業指導】 職業指導、職業指導の技術、職業指導の運営管理 ワ 【英語】 英語学、英語文学、英語コミュニケーション、異文化理解 カ 【宗教】 宗教学、宗教史、「教理学、哲学」
--	--